

## トントン、自らの力で殻を割って出ておいで

保育士の卵への半期だけの授業が終わった。保育士になろうと自らの力で卵の殻を割ろうとしてくれるようにと、授業の意図をそこにおいて進めてきた。

出欠調べがてらの毎回の授業の感想も、最後の日は以下に類するものをたくさんいただいた。

- ・最初の頃は教科書はあまり使わないし、黒板にもあまり書かないので多少心配でした。しかし、ビデオや体験談を交えての独特の授業は、毎回心に響くものばかりでした。授業の中で先生が言った言葉をたくさんノートに書いたので、大事なことをいつまでも忘れないようにしたいです。
- ・授業を受けて、子どもに接するためのことだけでなく、人として生きていくための多くのことを学んだ気がします。そのことを十分に生かせるように、しっかり考えて生きて行きたいと思います。
- ・先生の授業はいつも考えさせられることばかりでした。体験談をもとに、たくさんのお話をしてくれ、とても為になりました。これから保育士になって、たくさん悩むことがあると思います。そんな時に、先生のような人がいると、とても助かると思うし、助かっている人がたくさんいると思います。
- ・何より、一生懸命私たちに、よい保育士になって欲しいと思って教えてくださっていたことが、何よりうれしかったです。
- ・「(現場に出れば)大変なのはあたり前。その大変さとどう付き合っていくかを考える」という先生の言葉を胸にがんばりたいと思います。
- ・私は保育士になりたいと思って学校に入りましたが、今でもたまにこれで良かったのかなあと思う時があります。でも先生が話しているのを聞いて、「迷っても、逃げないことが大事だ」という事を教えてもらいました。
- ・先生の話はとても聞きやすく、難しい内容でも分かりやすく話していただきました。一つ一つ深く聞いたわけではありませんでしたが、もっと沢山の話を聞きたかったです。
- ・先生の授業が今日で終わりは、とっても悲しいです。先生の話をもっと聞きたかったです。

ようやく卵の殻を自らで割ってくれたよう。これからどう餌を啄むかは、学生一人一人の保育士になりたい！という自分の夢を追う情熱だろうなあ。